

# Bridolly

text and  
paintings by  
Kenji Shimizu

vol. 12 月刊ブリドリ



舞利鳥紅白梅図 6F



最終回

志水堅二 しみずけんじ  
1971年名古屋市生まれ。オリジナルキャラクター『ブリドリ』をモチーフに絵画、立体などを制作。東西のアートフェア、画廊、百貨店などで個展多数。

オフィシャルサイト  
<http://www.kenji-shimizu.com>

## ゆう しゅう かん び 有 終 完 美

3月号から始まった連載もあっという間に最終回。なれない文章はもちろんのこと、作品も毎回描いていたので月末はいつも締め切りとの戦いで大変だった。マイペースな僕にはかなり向かない仕事ではあったが毎月楽しみにしている方がいてくれたおかげで無事最終回を迎えることができた。

絵もそうだ、いくら好きで描いているとはいえ誰も喜んでくれなければ続けていくのは大変だ。

振り返って見ると、子供の頃の工作から今日まで好きにいろいろ創ってきたが常に誰かが反応してくれていた。ずっと誰かに支えられて来たのだ。

表現は伝達ではない、鑑賞者は関係ない、ただ表現すればいいのだ。というのが僕の持論だったが、今考えると、他者の干渉を恐れ、介入を拒絶するような持論は自信の無さからくるただの自己防衛だったのかもしれない。

しかし、ブリドリが作品に登場するようになって以降、鑑賞者の笑顔を見る機会が増え、考えが変わってきた。作品と鑑賞者が相互に作用し合うことで精神、感覚に変化をもたらすことが芸術であるように、やはり僕の作品も鑑賞者がいてはじめて成立するのかもしれない。

今はそう考えるようになった。なんだか大袈裟だが、僕らしく簡単にいうと、「これからもみんなから力をもらってみんなが笑顔になるような作品を作り続けて行きたい。」ただただ、そんな感じである。

Kenji Shimizu 